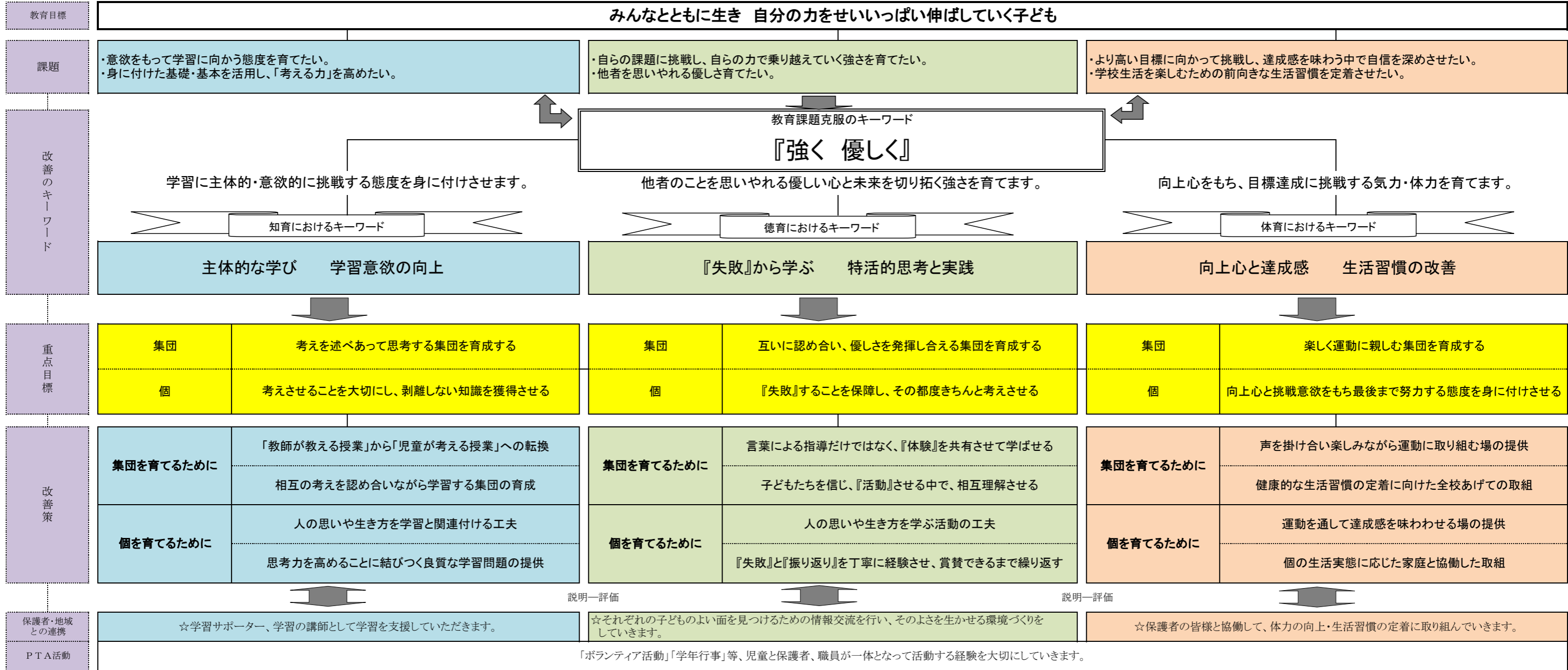


# 令和3年度 新発田市立御免町小学校グランドデザイン

みんなとともに生き 自分の力をせいっぱい伸ばしていく子ども



学校評価	成果	<p>集団 考えを述べあって思考する中で、友達のよさを感じることができる児童の割合を80%以上にする。</p> <p>個 思考力の実態を見取る問題(以下、チャレンジテスト)を複数回実施し、全国(県)の平均を常に上回る、または、得点の上昇率が全国(県)を上回る児童の割合を80%以上にする。(4~6年生) 基礎・基本の定着を見取るワークテスト(国・算)において、平均正答率が80%を上回る児童の割合を80%以上にする。(1~3年生)</p>	<p>集団 友達の行いや思いに目を向け、支えようとする学級の児童の割合を80%以上にする。</p> <p>個 ありのままの自分の姿を振り返り、行動を改めようとする児童の割合を80%以上にする。</p>	<p>集団 運動に親しみ、達成感や技能の伸びを実感している児童の割合を80%以上にする。</p> <p>個 生活習慣改善のための目標を自己決定して行動できた児童を80%以上にする。</p>
	教育活動	<p>集団 1日の学習の中で、友達のよさにふれる場面を1回以上設定する。(教師が子どもの考えのよさを伝えることも含む)</p> <p>個 チャレンジテスト(チャレンジミニテスト)の問題分析を生かした授業を月1回以上行う。</p>	<p>集団 児童が主体となる「特活的思考」に基づいた活動を学期に1回以上行う。</p> <p>個 活動を進める中で、自分自身について振り返る場面を意図的に設定し、振り返りを行う。</p>	<p>集団 学期に1単元以上、楽しみながら達成感を味わわせる場の設定を行う。</p> <p>個 さわやか生活ウィークを年2回設定する。</p>
	運営活動	<p>集団 集団の学びに関する授業を市教委計画訪問で行い、指導主事の先生方からいただいた御指導をレポートにまとめる。(年2回)</p> <p>個 チャレンジテスト(チャレンジミニテスト)に出題される問題の意図の分析を各自で月に1回以上行う。</p>	<p>集団 学級経営や特別活動についての研修会を学期に1回以上設定し、行う。</p> <p>個 人の思いや生き方に学ぶ「NIE」の実践を学期に1回以上行う。</p>	<p>集団 児童が楽しみながら達成感を味わい、運動に取り組む場について実践事例を提供する。</p> <p>個 生活習慣改善に向けた目標を自己決定させる手法について研修を行う。</p>